

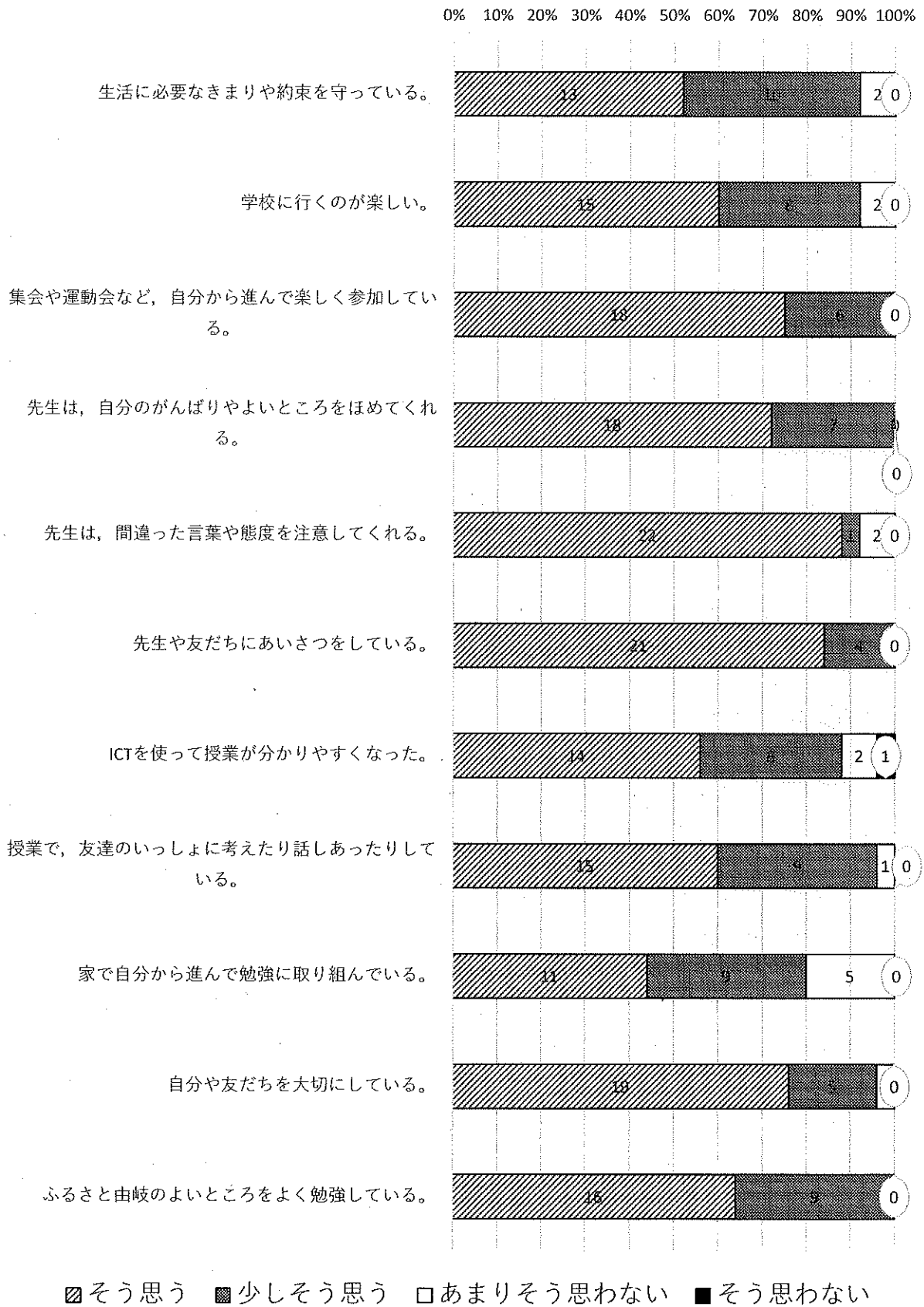
令和6年度

# 学校評価結果

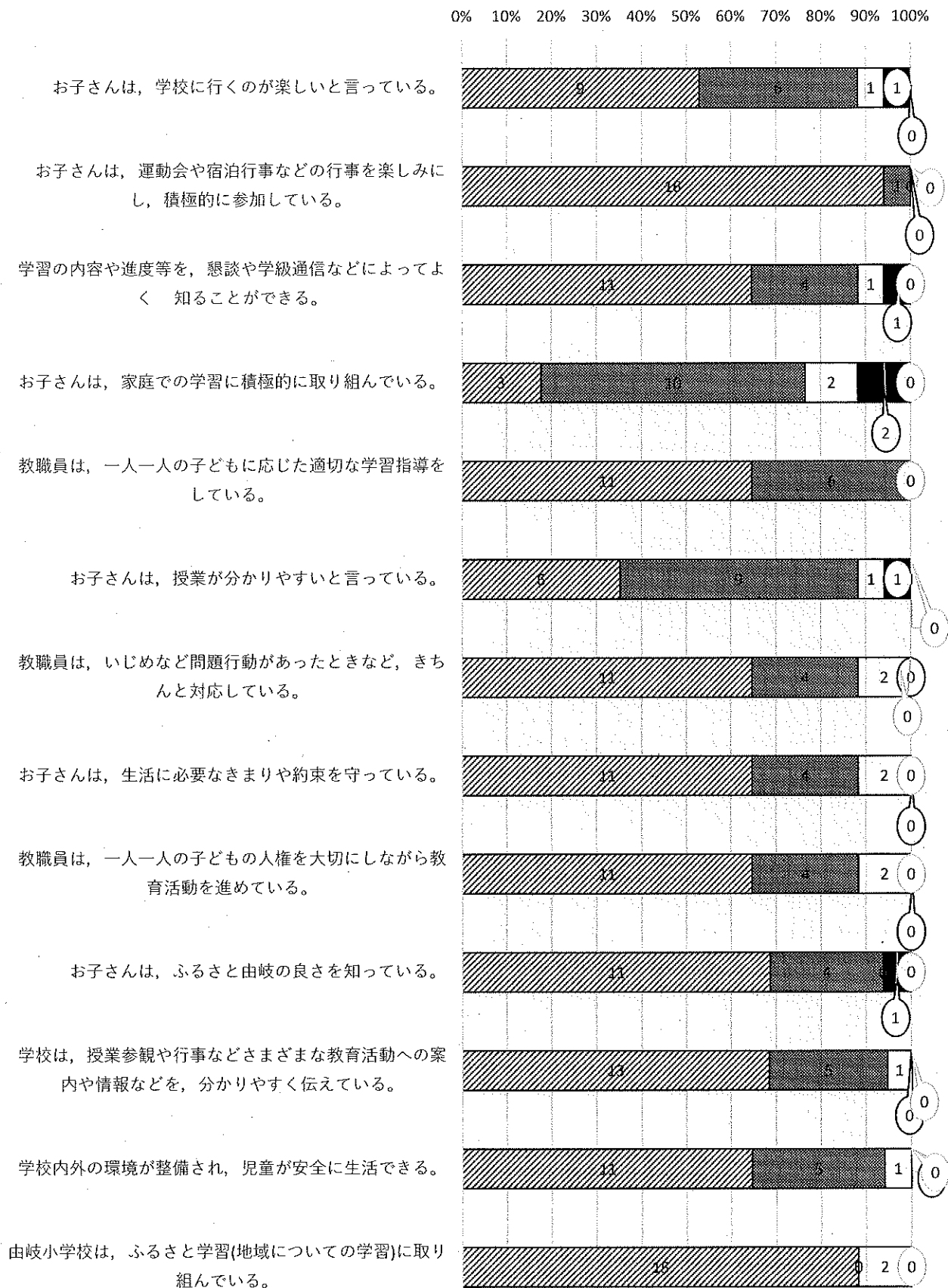
- 児童アンケート
- 保護者アンケート
- 教職員自己評価

美波町立由岐小学校

学校評価 児童アンケート 令和6年12月実施

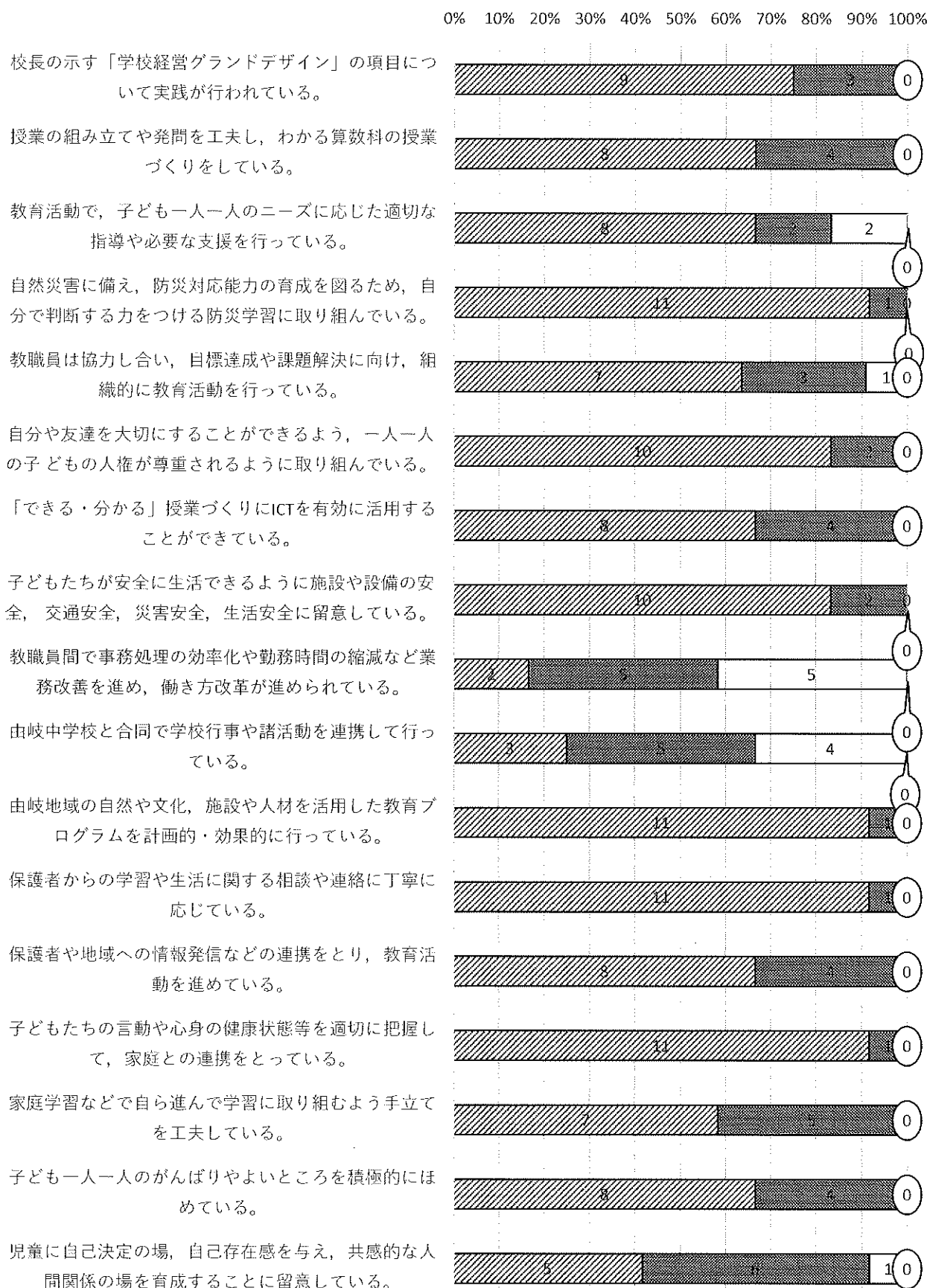


学校評価 保護者アンケート 令和6年12月実施



▨ そう思う   ▤ 少しそう思う   □ あまりそう思わない   ■ そう思わない   ◻ 無答

学校評価 教職員自己評価 令和6年12月実施



そう思う
  少しそう思う
  あまりそう思わない
  そう思わない
  無答

# 令和6年度 由岐小学校学校評価結果について

2月19日に、校内で学校評価結果について課題と成果について分析し、今後の改善方策について協議しました。2月28日には学校運営協議会を由岐小学校内で開催し、アンケートの結果と改善策について報告しました。そして、学校関係者として委員の皆様からご意見やご感想をいただきました。ここにまとめて、今後の学校運営に活かしたいと思えます。

## 1 学校評価結果の概要について

### (1) 昨年度（令和5年度）のアンケートにおける課題について

生活面では「生活に必要なきまりや約束についての理解を進め、規範意識を醸成すること」、学習面では「学校が学年間の系統性を持たせた家庭学習の進め方を具体的に示すこと」などが挙げられていました。

そこで今年度（令和6年度）は、これらの課題を教職員が共有し、特に学習面での課題であった宿題の出し方など改善してきました。その結果として、「家庭学習への積極的取組についての手立ての工夫ができている」と回答した教員が、約60%（令和5年度）から100%（令和6年度）に改善しています。保護者アンケート「お子さんは、家庭での学習に積極的に取り組んでいる。」（77%）、児童アンケート「家で自分から進んで勉強に取り組んでいる。」（80%）という結果ですが、児童の自主勉強ノートや日記、担任の聞き取りから、家庭でも自分で意欲的に学習していることがわかるという報告もありました。だから、数値だけでは判断できませんが、今後さらに「自分から学習したい。」と児童の学習意欲を喚起するような授業づくりをしていきたいと思えます。

生活面の課題についての前年度比は、保護者アンケート「お子さんは、生活に必要な決まりや約束を守っている。」（71%→89%）、児童アンケート「生活に必要な決まりや約束を守っている。」（91%→92%）となっています。この結果をふまえ、次年度も、規範意識を高める取組を続けていきます。

### (2) 今年度（令和6年度）アンケートの結果と考察

#### よいところ

##### 保護者アンケート

○「お子さんは、運動会や宿泊行事などの行事を楽しみにし、積極的に参加している。」

○「教職員が一人一人の子どもに適切な学習指導をしている。」

「**「そう思う」「少しそう思う。」が100%と高い評価を受けておりますので、今後も成果を挙げられるように取組を継続します。**

##### 児童アンケート

○「集会や運動会など、自分から進んで楽しく参加している。」

○「先生は、自分のがんばりやよいところをほめてくれる。」

○「先生や友だちにあいさつをしている。」

○「ふるさと由岐のよいところをよく勉強している。」

全員が肯定的な回答をしています。これらの結果から、児童の活躍の場があり、自分のよさやがんばりを教職員や友達から認めてもらえることで自尊心が高まっているよい状況であることがわかります。また、地域の方にあいさつをしたり、地域学習（わかめの栽培、防災学習など）で、体験を通して由岐のよさに気づいたりすることで、ふるさとを大切にする気持ちも育ってきたのではないかと思います。

改善するところ

保護者アンケート

- 「教職員は、一人一人の人権を大切にしながら学習活動を進めている。」  
(89%)
- 「教職員は、いじめや問題行動があったときなど、きちんと対応している。」  
(89%)

「教職員は児童を大切にしている。」と信用してお子様を預けてくださっているので不安や不信感を覚えることのないように、平素から保護者の方とコミュニケーションをしっかりとるようにします。そして、児童への生活指導や学習指導について理解していただくことや、児童への言動が心を傷つけることがないように教職員同士で互いに点検し合うなど改善していかねばならないと真摯に受けとめています。いじめにつながる問題行動には、鋭い人権感覚をもって組織的に毅然と対応しています。必要があれば関係機関とも迅速に連携します。保護者の方が気軽に相談していただけるような学校風土をつくっていきたくです。

教職員の自己評価から見える課題

●働き方改革やワークライフバランスという点において、まだまだ改善していかなければならないという結果になっております。

長時間勤務を解消し、タイムマネジメントに対する意識を高めるなど、管理職を中心に働き方改革を推進していく必要があります。対応策として、今年度は①チームズ、フォームズでのアンケート、学校評価ズーム、デジタル教科書などICTの活用②カエルボードの設置、③毎木曜日を5時間目一斉下校、④金曜日の終礼をなくした。⑤長期休業日前後の下校時刻を早めた。⑥超勤時間の取り返し⑦外部人材の活用など、具体的に改善してきました。

「信頼される学校」として機能するためには、教職員は「児童にとって」を一番に考えて、責任と使命感をもって取り組んでいくことが大切です。だから教職員が元気で明るく、笑顔で応援できる学校と考えます。そのような学校をめざし、働き方改革をさらに推進していきます。

●中学校との連携について見直しが求められております。

行事だけでなく、避難訓練や出前授業、PTA活動、特別支援学級に在籍する児童の引継ぎ（美波っ子ファイル等の活用）など、顔の見える温かい連携をしていくことで、進学におけるスムーズな接続ができたり、災害時に助け合ったりすることができるのではないかと思います。今後ともよろしく願いいたします。また、こども園との連携においても、就学に対する不安を軽減していけるように努めます。

回答にばらつきがあるため文言を変更

▲「ICTを使って授業が分かりやすくなった。」という項目について、児童は1

CTの利便性に気づいており、プレゼンの力もついているけれども、「ICTを使ったら授業が分かりやすくなった。」という実感がわかりにくいためではないかと推察しました。そのため次年度は、質問の文言を「ICTを使って調べる力や、プレゼンする力がついた。」に変更することにします。

### (3) 令和7年度学校評価に付け加える評価項目

学校評価に「性暴力等の防止に関する項目」を組み入れ、児童・保護者からの意見を反映します。また、「生命（いのち）の安全教育」等を授業参観やオープンスクールで授業公開し、児童生徒とともに保護者や地域住民への啓発を推進します。

## 2 今後の改善方策について

学校評価結果を踏まえて、学校教育目標「人権を大切にし、自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」の達成に向けて、次年度は次の4点を重点事項として取り組みます。

### (1) 学校経営について

- 人権教育を推進し、いじめや差別のない学校にします。  
「生命（いのち）の安全教育」に取り組みます。
- 少人数のよさを生かし、自主性を大切にした学びを創造します。
- 児童が自分で考え、判断し行動する防災教育を推進します。

### (2) 特別支援教育について

- 教職員の特別支援教育に対する専門性の向上に取り組みます。
- 校内支援体制を構築します。

### (3) 安心・安全な学校

- 自然災害に対する備えを点検・更新するとともに、校地、校舎、校具の安全確保を図るため、日常の点検を行います。

### (4) 地域・家庭とつながり、信頼される学校

- コミュニティスクールを活用して、地域や家庭、中学校やこども園との連携を図ります。（防災・安全・地域学習）
- 児童の課題に対しては、必要に応じ関係機関とも積極的に連携していきます。